

全国清涼飲料工業会

通常総会を開催、古平新会長体制スタート

(社)全国清涼飲料工業会は、2008年度通常総会を5月29日に東京で開催、総会員数86会員のうち79会員が出席した。2007年度事業報告・収支決算、2008年度事業方針・収支予算案が原案どおり可決した。任期満了にともなう役員改選で、古平新会長はじめ執行部が選出された(関連記事本号57頁)。2008年度の事業費予算は1億9,431万2千円。

飲料産業では、環境保護と食の安全性を最重要課題として、積極的な取り組みを行なう。環境対策では、2013年の容器包装リサイクル法の見直しや、

地球温暖化対策への対応を図る。リターナブルPETボトルの検討については、2007年度の研究結果に基づき現状では導入が困難なことを訴求するとともに、引き続き海外事例等を参考に安全性・経済性・環境面のデータを整備する。

自販機対策では社会的価値向上研究会を継続する。また、自販機の据付改善、耐震性の向上を図るとともに、自販機犯罪通報システム導入を継続する。

技術対策では、清涼飲料業界の信頼性向上自主行動計画を策定し、具体的な取り組みを進める。また、輸入食品を含む製品安全に関する情報の収集と発信を強化、野菜飲料・果実飲料の原料原産地表示の義務化への対応として、業界の実態が反映されるように努める。

国際対応では、海外の飲料摂取による肥満問題、安息香酸問題等に注意し、国際清涼飲料協議会から情報を収集するとともに、日本への波及に対応する。

日本乳容器・機器協会

通常総会開催、新会長選出へ

(社)日本乳容器・機器協会は、第47回通常総会を5月26日に東京で開催し、42社(総会員数50社)が出席した。総会では、平成19年度事業報告・収支決算、平成20年度事業方針・収支予算案が上程され、原案どおり可決・成立した。続いて行なわれた一部役員改選で、会長理事に鈴木靖浩氏(日本テトラパック社)が選出され、新体制が発足した(関連記事本号57頁)。

平成20年度は、これまでと同様に「乳等のキャップ又は容器包装及び乳等の製造に用いる機械・器具の衛生及び品質の向上を図ることにより、わが国乳等の容器包装等事業及び乳機器事業の健全な発展並びに国民の公衆衛生の向上に資することを目的とする」という設立目的に沿った活動を行なう。平成20年度の総収入予算は、1,639万9千円。支出予算は、事業費670万円、管理費502万円となっている。

アースティー

アフリカ産プーアル茶を拡販

合同会社アースティー(本社:埼玉県川口市)は、アフリカ・マラウイ共和国産のプーアル茶葉を製品化し、このほど試験販売を開始した。

このプーアル茶葉は日本の黒麹菌のみで発酵しており、従来品と比べて、臭みがなくすっきりした飲みやすさが特徴という。アフリカ南東部に位置するマラウイは、アフリカ第2位の紅茶生産国で、長年蓄積された茶葉栽培のノウハウが豊富だという。なかでも同社の取り扱うプーアル茶葉は、高地の2茶園に限定して栽培を行なっているため、農薬や化学肥料が不要で、またトレーサビリティへの対応が可能となっている。今後同社では、価格競争力もあることからプーアル茶葉のバルク供給をめざしていく考えだ。さらに、大学の研究機関等との連帯を強化、プーアル茶の健康機能面での効果について、学術的な検証を進めていくという。

なおこのプーアル茶葉は、日本貿易振興機構の2007年開発輸入企画実証事業の一環として、同社が昨年からの開発発酵実験を繰り返し、このほど製品化したもので、5月28日～6月1日にパシフィコ横浜で開催された「アフリカン・フェア2008」で初めて発表された。詳しくはリーダーサービスカードNo879で。

大塚製薬 / 2008年3月期決算

医療、消費者関連事業ともに好調で増収増益

大塚製薬の2008年3月期(2007年4月1日～2008年3月31日/44期)の連結決算は、売上高が8.7%増の9284億80百万円、営業利益は29.3%増の1182億54百万円、経常利益8.9%増の1241億25百万円、当期純利益17.0%増の618億65百万円となった。エリア別売上高は、国内(親会社および国内連結対象会社)が4.4%増の5708億円、海外(海外連結対象会社)は16.2%増の3575億円となり、その比率は国内61.5%、海外38.5%となっている(以下、単位:百万円、カッコ内は前年同期比)。

▶事業別売上高

消費者関連事業	
連結	258,600 (103.8%)
個別	146,407 (104.1%)
医療関連事業	
連結	640,200 (111.1%)
個別	266,909 (111.2%)

消費者関連事業では、国内で初めて

「陽圧無菌充填方式」を導入し、従来容器より約30%軽量化した「ボカリスエット」(500ml PETボトル)を2007年6月に発売した。「オロナミンCドリンク」および「カロリーメイト」は、積極的な販促活動等により伸長した。「アミノバリュー」では、東京マラソン2008に協賛するなど、ブランド確立に努めた。

大塚ペパレジでは、「クリスタルガイザー」をはじめとするミネラルウォーターおよび、茶系、果汁、炭酸飲料等も順調に推移した。

▶個別44期業績

売上高	413,315 (108.5%)
営業利益	65,586 (162.4%)
経常利益	65,297 (133.3%)
当期純利益	40,118 (111.6%)

▶個別45期業績予想(単位:億円)

売上高	4,400 (106.5%)
経常利益	480 (73.6%)